



キャセイ・トライテック株式会社

中国携帯市場通信

Volume 5 No.9

2013 年 9 月

キャセイ・トライテック株式会社

中国携帯市場通信 '13.09 月

【目次】

TD-LTE

- [酷派、下半期にLTE 携帯数機種を発売](#)
- [中国、4G 携帯第一陣は入網許可取得済み](#)

キャリア動向

- [中国電信、自社流通チャネルを端末メーカに開放](#)
- [中国移动、9 月に 4G 新機種を調達](#)

キャリア別ユーザー統計

- [3 事業者別累積 3G ユーザー数月次統計](#)
- [3 事業者別 3G ユーザー新加入者数月次統計](#)
- [3 事業者別 2013 年 6 月～8 月分ユーザー数](#)

モバイル決済

- [中信銀行、中国聯通と提携してモバイルワレットサービス](#)

工信部

(今号では記事はありません)

携帯販売

- [レノボ、CDMA 対応スマートフォン S820e を発表](#)
- [中国移动、TD-LTE 版 Note II 発表](#)
- [Acer、6 インチの Liquid S2 を発表](#)
- [超薄 Hi-Fi スマートフォン VIVO X3](#)

評論

- [モバイルマーケティングにビジネスチャンス](#)

仮想キャリア

(今号では記事はありません)

其他

- [Samsung、中国でトップの地位を失う？](#)
- [下半期、携帯メーカはミドルレンジを攻める](#)
- [ソニー、中国携帯市場に攻勢をかける](#)
- [レノボ、新華社と提携](#)

噂

- [中国電信の 3G 千元デュアルスタンバイ携帯](#)
- [中国移动、iPhone 発売を延期？](#)



TD-LTE

* 酷派、下半期に LTE 携帯数機種を発売

最近宇龍酷派は、「2016 年に、300 億円の販売高と 30%の海外市場シェア」という戦略目標を策定した。この目標に沿って、下半期に LTE 対応 4G スマートフォンを 4~6 機種発売する。

Canalys の発表した 2Q の世界スマートフォンランキングによると、レノボと酷派は上位 5 社にランクされており、酷派は携帯出荷台数増加率で第 1 位の 216%を達成した。

TD-LTE 携帯端末を最初に提供したメーカーとして、酷派は LTE 端末の戦略部門を設置している。実際、酷派は LTE 端末の革新と研究開発において国際リーダーレベルになっており、2009 年より LTE 研究開発センターを設立している。2010 年の万博では、TD-LTE 携帯初のオリジナルモデルを発表している。2012 年には Metro PCS と提携して北米で 4G の QUATTRO を発売し、販売は百万台を突破している。酷派はスマートフォンのグローバルサプライヤーとして、3G 及び 4G の両方を提供できる数少ない企業の一つとなっている。

2013 年の重点戦略として、TD-LTE と FDD-LTE をサポートする製品の研究開発計画を立案し、既に北米市場や欧州向けに数機種の LTE 製品を供給し、キャリアとユーザーに受け入れられている。

7 月発売の酷派 8920に続いて、下半期中にミドル~ハイエンドでの大画面機種を含む 4~6 機種の LTE 対応 4G スマートフォンを発売予定としている。上半期に酷派は、中国初となる LTE 4G 携帯酷派 8920 を発売し、5 モード 13 周波数をサポートする GSM/TD-SCDMA/TDD-LTE/WCDMA/FDD-LTE 対応の機種となっている。4G ライセンスが交付され次第量産される予定である。

* 中国、4G 携帯第一陣は入網許可取得済み

現在 TD-LTE 対応の 4G 携帯は、異なるブランドの 4 機種が入網許可を取得している。この 4 機種は、華為 D2-6070、ZTE U9815、ソニー M35t、Samsung GT-N7108D で、全て TD-LTE/TD-SCDMA/GSM に対応している。早ければ 9 月 28 日にも入網証を取得することが可能となっている。

キャリア動向

* 中国電信、自社流通チャネルを端末メーカーに開放

中国電信と端末メーカーは、提携して製品の販売流通システムを構築した。キャリアの流通チャネルが初めて一般に開放されたものであり、販売事業者はキャリアなどを介さず



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F

TEL : 045-476-5170 (代) FAX : 045-476-5171

E-Mail : ctt@cathay.jp URL : www.cathay.jp

直接製品を扱うことができる。

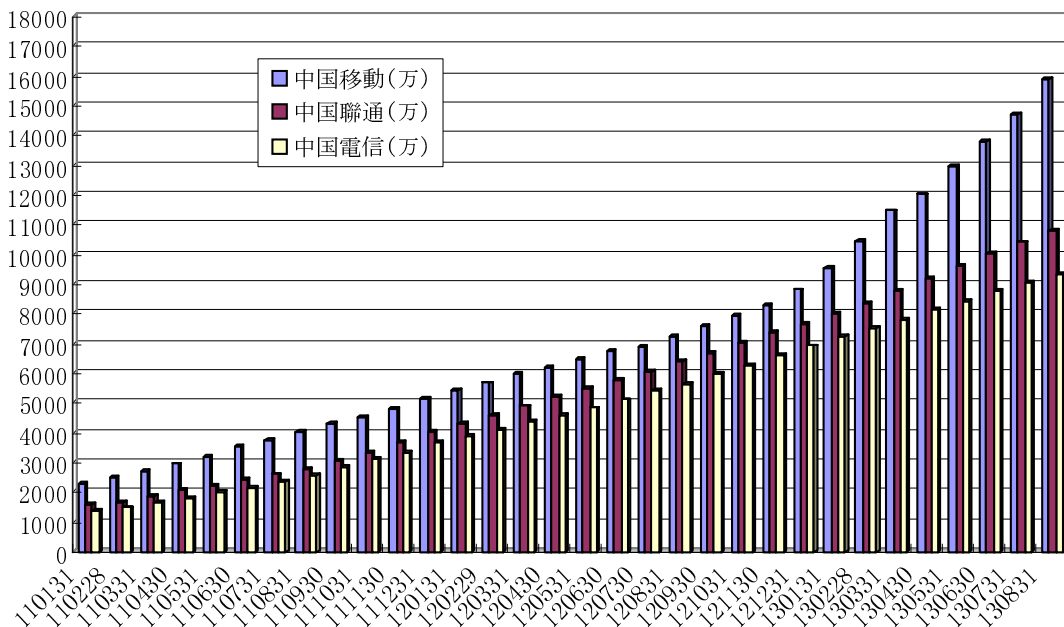
* 中国移動、9 月に 4G 新機種を調達

中国移動は、新規に TD-LTE(4G)端末の調達を始める模様。

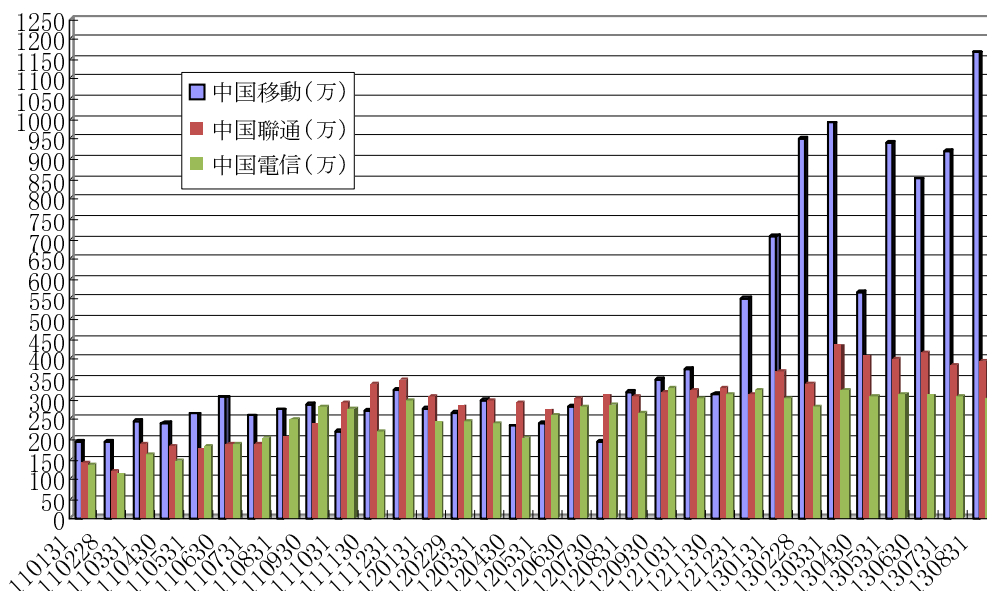
中国 4G ライセンスは、年内には交付されると考えられている。中国移動は、2Q に 20 万台の TD-LTE 端末を調達し、更に 9 月に新規調達を始める考えであり、規模は 2Q を超えると考えられる。下半期の中国移動は TD-LTE デュアル待ち受け携帯を 10 数機種調達する計画で、独自ブランドのスマートフォンも含まれているとのこと。

キャリア別ユーザー統計

* 3 事業者別累積 3G ユーザー数月次統計



* 3 事業者別 3G ユーザー新加入者数月次統計



* 3 事業者別 2013 年 6~8 月分ユーザー数

年度	ユーザー数	中国移動	中国聯通	中国電信
13年6月末	携帯電話ユーザー総数	11.7623 億		
	6 月分携帯加入者純増数	1104.4 万		
	携帯ユーザー数	7.40154 億	2.62169 億	1.745 億
	携帯加入者純増数(2G+3G)	497.8 万	380.6 万	226 万
	3Gユーザー数	1.37879 億	10002.8 万	8733 万
	6 月分加入者純増数(3G)	848.3 万	413.3 万	309 万
	2Gユーザー数	6.02275 億	1.62141 億	8717 万
	固定電話ユーザー数	不明(無線固話)	8969.5 万	1.596 億
13年7月末	携帯電話ユーザー総数	11.8759 億		
	7 月分携帯加入者純増数	1608.8 万		
	携帯ユーザー数	7.45 億	2.66 億	1.7659 億
	携帯加入者純増数(2G+3G)	481.1 万	340 万	209 万
	3Gユーザー数	1.47 億	1.039 億	9039 万
	7 月分加入者純増数(3G)	917.2 万	385.6 万	306 万
	2Gユーザー数	5.98 億	1.621 億	8620 万
	固定電話ユーザー数	不明(無線固話)	8933.2 万	1.5917 億
13年8月末	携帯電話ユーザー総数	11.98112 億		
	7 月分携帯加入者純増数	1140.3 万		
	携帯ユーザー数	7.5042 億	2.6974 億	1.7864 億
	携帯加入者純増数(2G+3G)	545 万	390 万	205 万
	3Gユーザー数	1.5869 億	1.0782 億	9339 万
	7 月分加入者純増数(3G)	1164 万	393 万	300 万
	2Gユーザー数	5.9 億	1.61655 億	8525 万
	固定電話ユーザー数	不明(無線固話)	8903.4 万	1.5857 億

モバイル決済

* 中信銀行、中国聯通と提携してモバイルワレットサービス

8月22日、中信銀行は中国聯通集团公司と提携し、北京でモバイルワレットサービスを行う協定を締結した。商業銀行として初めてこのサービスを実施することとなる。両社は、NFC 近距離無線技術に基づくモバイル決済システムを構築し、モバイルバンキングも含めたインターネット金融サービスを共同で開発している。

携帯販売

* レノボ、CDMA 対応スマートフォン S820e を発表

レノボは、中国電信向けに S820e を主力機種とする CDMA ネットワーク対応スマートフォン機種を北京で発表した。中国電信では初となるデザイン重視の「ウイングファッショ」スマートフォンで、レノボ S820e は女性向けにセクシーデザインとなっており、4.7 インチ HD ディスプレー(1280×720)を採用し、800 万画素のメインカメラと 160 万画素の第 2 世代裏面照射 CMOS カメラを前面に搭載した、1.2GHz クアッドコア CPU の Android 端末となっている。

S820e は、1,590 円で 9 月に発売されるもよう。それ以外の機種もまもなく発売するとしており、A750e、A630e、A770e、A370e が同シリーズ製品となる。

* 中国移動、TD-LTE 版 Note II を発表

先日 Samsung は中国移動向けとして初の TD-LTE 携帯 GALAXY Note II N7108D を発表した。この製品は、工信部試験を第一陣で通過した 4G 携帯の一つで、中国移動向け端末メーカーとしては最初の 4G 携帯となる。

GALAXY Note II N7108D は TD-LTE/FDD LTE/TD-SCDM/W-CDMA/GSM など五モードをサポートしており、TD-LTE ではシングル SIM デュアルスタンバイ動作をサポートする。この携帯は、5.5 インチ特大 HD 画面を採用し、3,100mAh のバッテリー、800 万画素メインカメラと 190 万画素の前面カメラを搭載し、OS は Android 4.2.2、1.9GHz クアッドコア CPU で構成した端末となっている。

* Acer、6 インチの Liquid S2 を発表

6 月の Computex 台北国際 PC 展示で Acer は、5.7 インチのスマートフォン Liquid S1 を発表していた。それに引き続き、9 月 6 日からの IFA(ベルリン)開幕の際には、6 インチの Liquid S2 も発表した。

Liquid S2 は、クアルコム の 2.2GHz CPU スナップドラゴン 800 を採用し、フル HD の IPS 液晶と 1,300 万画素のメインカメラ、1,080p のビデオ録画可能な 200 万画素前面カメラを内蔵し、2GB RAM と 3,300mAh バッテリーを搭載している。LTE 4G ネットワークに対応している。

Liquid S2 はまた、4K(3840×2160 画素)ビデオ録画を初めてサポートするスマートフォンである。あるレポートによれば、Samsung がまもなく発表する Galaxy Note 3 も 4K ビデオ録画をサポートするとのこと。

Liquid S2 は 10 月末に登場する見込みで、まず欧州向けに販売する計画である。



* 超薄 Hi-Fi スマートフォン VIVO X3

步步高は、新世代フラッグシップスマートフォン VIVO X3 の発表を行った。そのセールスポイントは、超薄ボディと Hi-Fi オーディオにあるとうたっている。

VIVO X3 のボディ本体厚さは 5.75mm で、5.0 インチ HD 画面を採用し、ジェスチャー入力も採用しており、ユーザーは手の動きだけでアプリの Open や画面を閉じることができる。

VIVO X3 は、ブルーレイオーディオ用 Hi-Fi チップ ES9018 カスタマイズ版を初めて搭載している。ES9018 は、これ以前にはデスクトップ高級オーディオ製品に搭載されるデコーダーとして用いられており、これを搭載した VIVO X3 は VIVO シリーズの Hi-Fi フラッグシップモデルとなった。

VIVO X3 は 2,498 円で、VIVO 公式オンラインマーケット、360Buy、Tmail、携帯販売店で発売されている。

評論

* モバイルマーケティングにビジネスチャンス

2013 年末の中国では、スマートフォンユーザー数が 5 億になる見込みである。そのユーザーをターゲットにした、モバイルマーケティングにビジネスチャンスが生まれている。

Experian Marketing Services は、マーケッター300 名余りを対象に B2B 及び B2C 業界を調査し、「Mobile Marketing in China」と題するレポートをリリースした。それによると、約 36% のマーケッターがモバイルマーケティングを試しており、16%は既に通常利用していた。

ただ、多くのマーケッターはその対象の膨大さに戸惑っている。ポイントとしては、SMS でショップの割引券を発信する販促は、191 億元の取引額となっていることがある。



現時点では、SMS を主要なモバイルマーケティング手段と位置付けられる。2013 年中に伸びることが期待されているものとしては、販促用アプリケーションや QR コード・バーコード及びモバイル最適化メールがある。

上記以外の調査結果は以下のとおり。

- ◆ 調査対象企業の 29%は、SMS が顧客との最重要コミュニケーションツールとした
- ◆ 調査対象企業の 16%は、モバイルマーケティングでの成功経験があり、日常マーケティングルートとなっている
- ◆ 調査対象企業の 20%は、SMS または他のモバイルマーケティングを行ったことがある
- ◆ 調査対象企業の 31%は、モバイルマーケティング戦略を策定中か策定済みであるが実行には移していない

其他

* Samsung、中国でトップの地位を失う？

投資銀行 Wedge Partners のアナリスト張軍は、中国市場では Samsung はスマートフォンのブランドリーダーとしての地位を中国ブランドに奪われると予想している。

中国では、300～400 ドルの価格帯はミドルエンド市場であり、小米、レノボ、華為、ZTE、酷派、MEIZU、Vivo 等ローカルブランドの領域となっている。ハイエンド市場はアップル、Samsung、ソニー及び他の海外ブランドに主導されているが、そのフラッグシップ端末の価格は 700ドル以上となっている。

ミドルエンドスマートフォン市場は、価格や新製品サイクルの競争となっており、販売ルート／キャリアとの関係などが重要なファクターとなる。この点、中国ローカルブランドは海外ブランドより大いに優位性がある。

レノボはミドルエンドスマートフォン市場のリーダーとなり、まもなく発表される Vibe X の価格は 300～350ドルになると思われる。4Q の出荷台数は 500 万台になると予想されている。

Samsung のミドルエンドにおけるリーダー地位は、ローカルブランドに奪われる見込みとなっており、レノボや華為が中国市場の 2 強になると考えられている。

* 下半期、携帯メーカーはミドルレンジを攻める

9 月に Galaxy Note 3 及び iPhone 5S/C が発売され、ソニー Xperia Z1、HTC One Max、酷派大覲 4 等のフラッグシップスマートフォンも続々と発売される見込みである。アップル、Samsung など強豪海外メーカーに対抗し、華為、ZTE、酷派、レノボなど国産携帯メーカーも下半期に新機種を発売する計画を立てている。

華為は、クアッドコアのミドルエンド携帯「栄耀 3」発表し、9 月末にはレノボが 2 機種を発売する予定である。機種は、中国移动向け S898t と中国联通向け S960 である。



キャセイ・トライテック株式会社

CATHAY TRI-TECH, INC.

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5 新横浜ユニオンビルANNEX 7F

TEL : 045-476-5170 (代) FAX : 045-476-5171

E-Mail : ctt@cathay.jp URL : www.cathay.jp

また、国内メーカーの小米、MEIZU、OPPO も新携帯を発表する予定とのこと。ハイエンドについて、酷派も業界初の Tegra 4 スマートチップを採用する酷派「大観 4」を発売する。全金属一体型ボディデザインのこの端末は、5.9 インチディスプレイ、1,080p のビデオと 2GB の RAM を搭載し、1,300 万画素のメインカメラにダブル LED フラッシュライトを採用した Android 4.2.2 OS の端末となっている。

Canalys が発表した 2Q のグローバルスマートフォンランキングでは、トップ 5 内に国産メーカー 2 社があり、酷派が 21.6% という数字を達成して成長率トップのメーカーとなった。

賽諾レポートによると、ZTE、華為、酷派、レノボを代表とする国産携帯メーカーは中国携帯市場の 70% 以上を占め、携帯デザインと利益を除けばグローバルメーカーを凌駕した。

酷派「大観 4」は、中国初のウェアラブルデバイスであるスマート腕時計(cool watch)を開発した。cool watch を使用して通話と SMS を行うことができる。

* ソニー、中国携帯市場に攻勢をかける

Gartner によると、ソニーの 2Q での市場シェアはグローバルトップ 5 に入っていない。ソニーのグローバル市場シェアは、昨年の 1.7% から 2.2% に上昇したが、第 9 位にとどまっている。だが、先日の新製品発表会では強気の姿勢を見せており、華為と ZTE 及び韓国 LG にチャレンジしてグローバルトップ 3 を狙っているようである。現時点では、Samsung とアップルでグローバルスマートフォン販売シェアの半分以上を占めている。

まず、販売チャネルとして一般市販ルートだけでなく、中国で公式直営店を展開しつつ大手携帯販売店とも連携し、第 3～4 階層の都市へも進出する。更に、3 キャリアとの提携を強化してキャリアショップにも進出を図っている。また、インターネットショッピング対応では主要電子ビジネスサイトとの提携を強化している。

製品戦略としては、レノボ、華為、小米、ZTE 等の国産メーカーに対抗し、6 月に発表した 3 機種中 2 機種が中国キャリア向けにカスタマイズされた携帯となっている。また、中国消費市場に合わせた、各価格帯の携帯を提供するとしている。

携帯にとって、アプリやコンテンツも大切である。例えば、HTC は SW 企業買収などの投資を行っている。将来は、携帯向けのマルチメディアサービス(例えば、ゲーム、映画、音楽など)が重要なファクターとなってくる。

ソニーは自社で音楽、映画、ビデオゲームなどコンテンツソースを持つため、このコンテンツを競争力強化のリソースとして有効活用することが求められる。

* レノボ、新華社と提携

先日レノボスマートフォンは、新華社新華インターナショナルと戦略提携協定を締結し、契約式典を北京で開催する。レノボスマートフォンと新華社新華インターナショナルは、相互にブランド価値を高めるための活動を展開する。

新華インターナショナルはレノボスマートフォン対応の情報発信をし、レノボはスマート端



末に新華インターナショナル対応クライアントを組み込む。

IDC の最新統計によると、今年 1Q のレノボはグローバルスマートフォンシェア 4.7%となる 1,300 万台超を出荷し、中国ブランドとしてはトップとなり、グローバルでは第 4 位となった。この提携で、レノボはニュース関連のコンテンツを充実させてブランド価値の向上を図るとともに、新華社に先端通信機器やディスプレイ端末を提供することで、メディア各社へのアピールをすることを意図している。

噂

* 中国電信の 3G 千元デュアルスタンバイ携帯

中国電信は近日中に、「千元双待王」ブランドの 3G 携帯を発売するとしており、より大きい画面、より高い性能そして、より良いユーザーインターフェースを持つとしている。

中国電信は、2012 年 10 月に初めて「千元デュアルスタンバイ」携帯である酷派 5910 を発売し、本年 4 月には第 2 世代の酷派 5930 を発売している。この 2 機種の販売台数は、100 万台近くになるとしている。

第 3 世代の「千元双待王」は、クアルコムのカアッドコア CPU を搭載し、5.5 インチの画面、800 万画素のメインカメラと 200 万画素の前面カメラを採用した製品となっており、CDMA2000+GSM のデュアルモード・デュアルスタンバイの製品となっている。

また、薄さは 8.8mm と超薄ボディであり、魅力的な製品に仕上がっているようである。

OS として、Android 4.1.2 をベースにした CoolFife UI 4.1OS を採用し、ユーザー個別の設定による様々なテーマやデスクトップ、天翼空間、天翼ナビ、天翼デスクトップ、翼支払い等の天翼専用アプリを内蔵してユーザー満足度を高めているとのこと。

* 中国移動、iPhone 発売を延期？

中国移動は、TD-LTE ネットワークの整備が完了する 11 月まで、TD-LTE 対応の iPhone の発売が延期するとのこと。中国移動は、iPhone 5S を TD-LTE のフラッグシップ携帯と考えており、TD-LTE 対応の iPhone 5S を 5G より前に発売するかもしれない。

アップル社 CEO Tim Cook は数回に渡り中国移動取締役奚国華氏と会談しているが、まだ 2 社は正式契約に至っていないよう。

- ご愛読ありがとうございました -